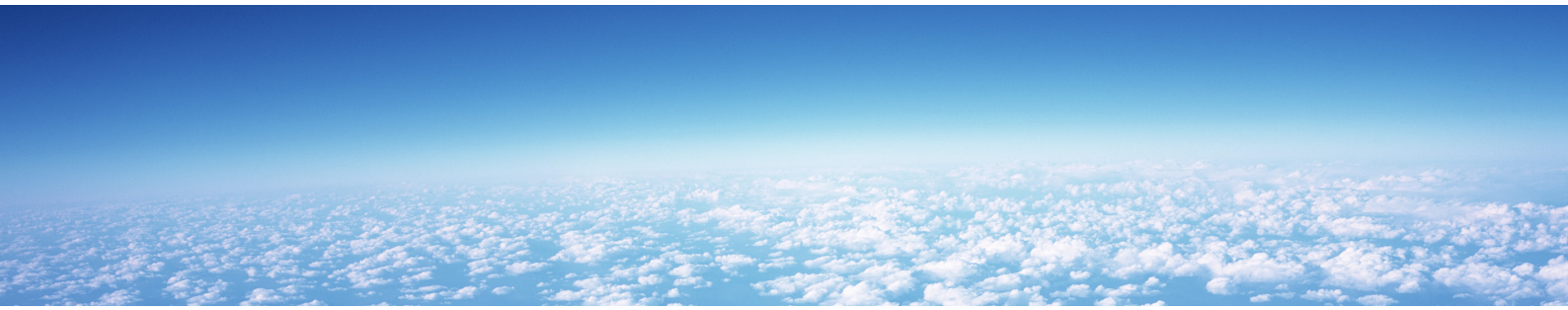
未来志向、世界の一流技術を求めて、今を革新する
計測技術
株式会社レックス

簡易取扱説明書



デュアルタイプ膜厚計
LZ-300J

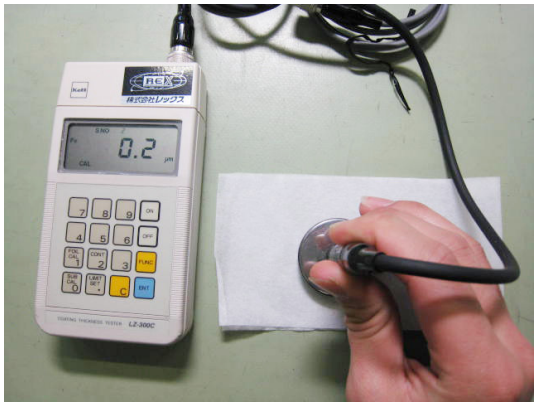
©REX CO.,LTD.

1. 測定条件

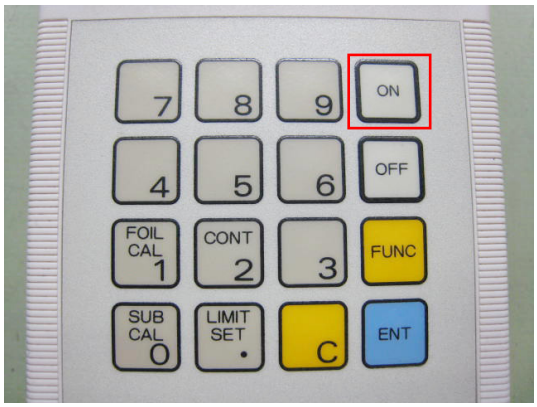
- 測定時間：10m
- 周波数重み特性：A 20 ～ 100dB レンジ
- 動特性：FAST AUTO2

2. 測定準備

1. 磁性金属上の非磁性被膜の測定には黒いプローブを、非磁性金属上の絶縁被膜の測定にはグレーのプローブを接続します。

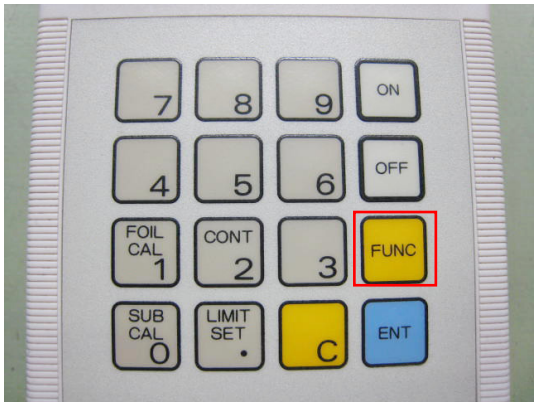


2. 電源を入れます。

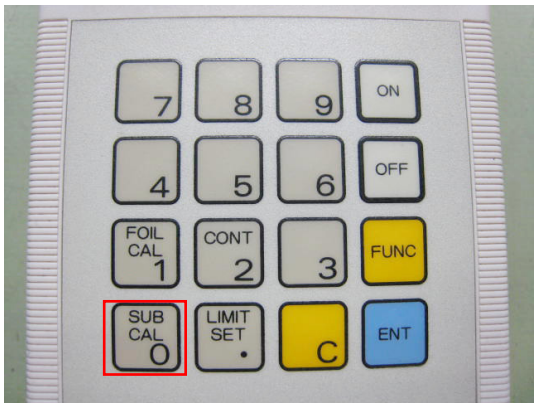


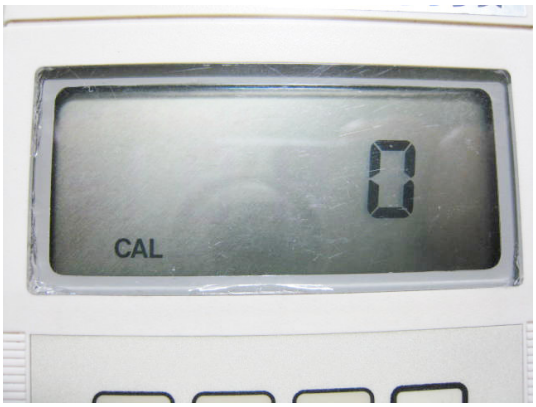
©REX CO.,LTD.

3. ファンクションキーを押します。

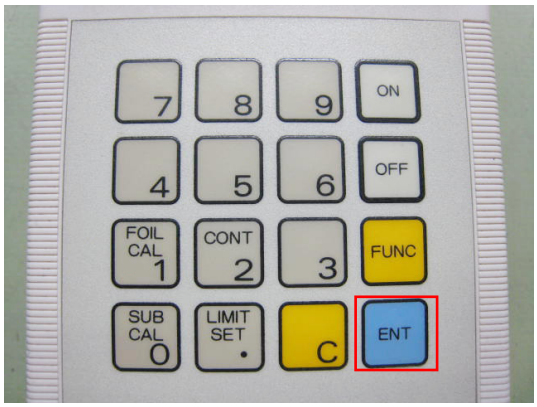


4. SUB CAL（素材補正）キーを押します。



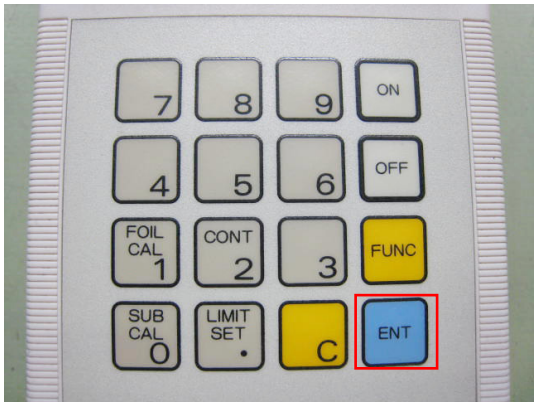


5. あらかじめ用意した素地（ゼロ板）に、プローブを押し当てたまま ENT（入力）キーを、正確に 10 回押します。

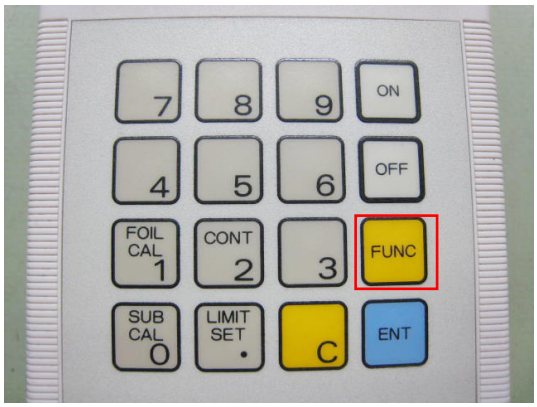


6. 10 回目にブザーが断続的に鳴り、表示部に【1F】と表示されます。

7. プローブを空中に向けた状態で、ENT（入力）キーを押します。最初の表示に戻ります。



8. FUNC（フクション）キーを押します。

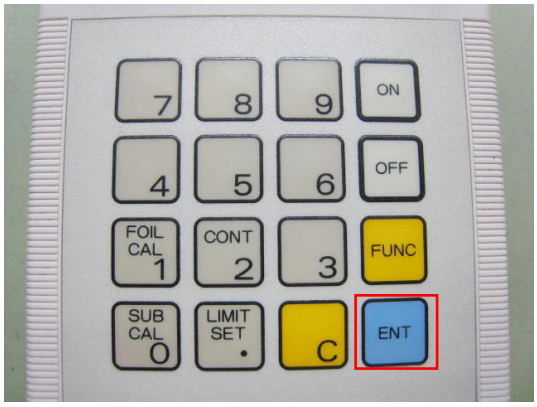


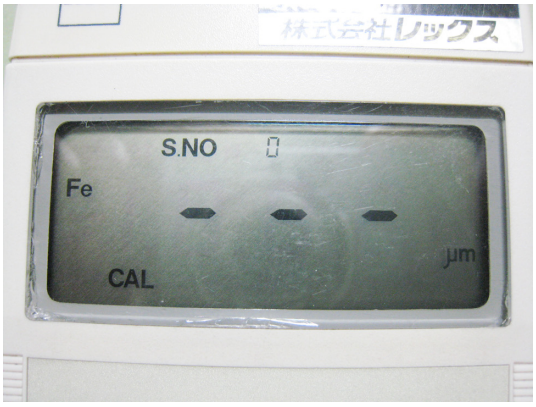
©REX CO.,LTD.

9. FOIL CAL（標準板調整）キーを押します。

10. ゼロ板（素地）を５回程度測定します。測定のたびにブザーが鳴り測定値を表示します。

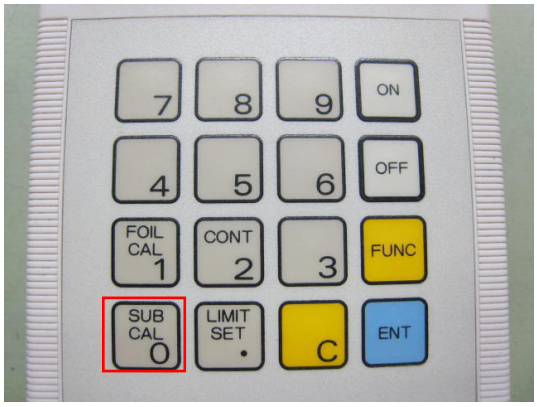
11. プローブを空中に向けた状態で、ENT（入力）キーを押します。表示部は【－－－】を表示します。



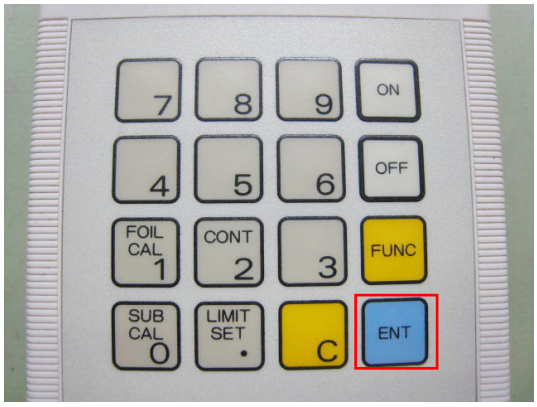


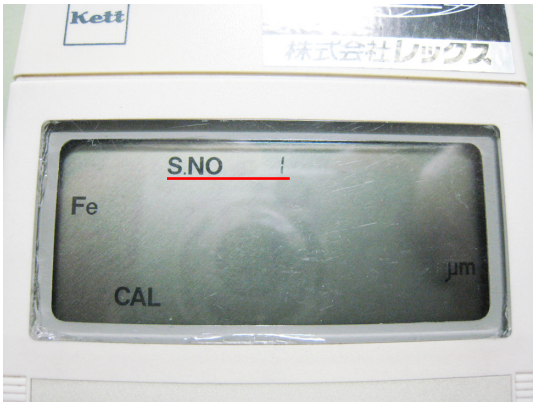
©REX CO.,LTD.

12. ゼロ板の被膜の厚さ（0 μ m）を入力します。



13. ENT（入力）キーを押すと、数値【0】が消えて S.NO が【0】から【1】に変わりますので、標準板による調整に移ります。

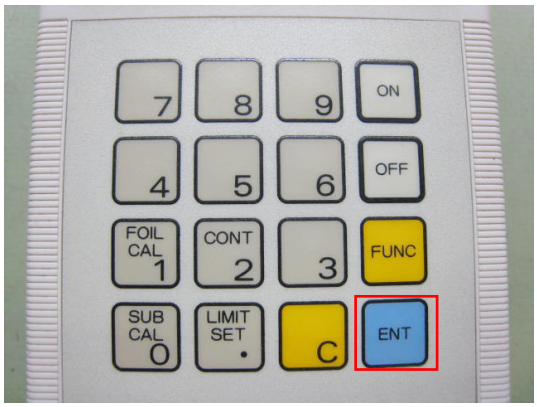




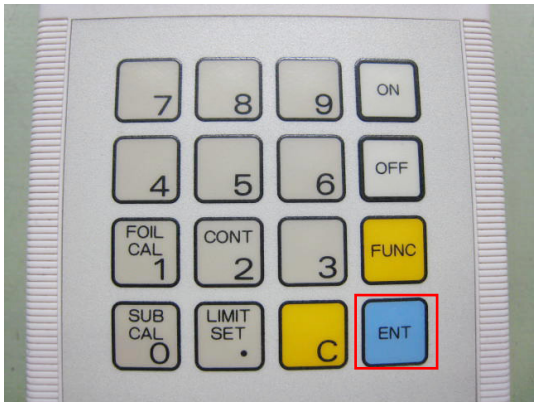
14. ゼロ板（素地）に 40 μ m の標準板をのせて、5 回程度測定します。

©REX CO.,LTD.

15. プローブを空中に向けた状態で ENT（入力）キーを押し、被膜の厚さを入力します。



16. 4 ～ 6 の操作を 100 μ m・400 μ m の標準板を使って繰り返します。ENT（入力）キーを押すと、最初の表示に戻ります。これで調整の操作は終わりです。



3. 測定開始

1. プローブを測定面に垂直に当たるように、すばやく押し下げます。

©REX CO.,LTD.

©REX CO.,LTD.

未来志向、世界の一流技術を求めて、今を革新する
計測技術
株式会社レックス

株式会社レックス
〒662-0934
兵庫県西宮市西宮浜 3 丁目 29 番
TEL 0798-38-6363　FAX 0798-38-6300
http://www.rex-inc.co.jp/